

「電子出版アクセシビリティ・シンポジウム」報告

開催概要

- 【題目】「電子出版アクセシビリティ・シンポジウム」
- 【日時】2012年2月13日(月) 13:00~16:45
- 【場所】如水会館 スターホール
- 【対象】電流協会員及び一般 (参加無料)
- 【主催】一般社団法人 電子出版制作・流通協議会
- 【共催】・東洋大学特別研究「電子書籍プラットフォーム分析」(tu-Rip)
・立命館大学 R-GIRO プログラム「電子書籍普及に伴う読書バリアフリー化の総合的研究」(IRIS)
- 【後援】総務省
- 【参加者数】事前申し込み総数 199名 当日出席者数 152名(定員 300名)

シンポジウム内容



主催者挨拶 電子出版制作・流通協議会 理事 中尾光宏

第1部 パネルディスカッション

「電子出版におけるアクセシビリティの今後のあり方を考える」

コーディネーター：松原聡(東洋大学教授/電流協 特別会員)

パネラー：(五十音順)

石川 准(静岡県立大学教授)

阪本泰男(総務省大臣官房審議官)

松原洋子(立命館大学教授)

丸山信人(電流協特別委員会委員長/インプレスホールディングス執行役員)

第2部 アクセシビリティ研究中間発表

・東洋大学特別研究発表

『「出版のデジタル化」におけるプラットフォームの分析』

・立命館大学 IRIS 研究発表

「電子書籍アクセシビリティに関する出版社アンケートについて」

・電流協特別委員会 研究部会報告

TTS 研究部会・インタフェース研究部会発表・デジタルデータ研究部会発表

【内容】内容については、電流協 NewsLetter Vol.6 に記載してあります。

URL <http://aebs.or.jp/pdf/AEBSNewsLetter006.pdf>